

小さな会社の「最強経営」

～経営指針をつくり、実践し、未来をひらく～

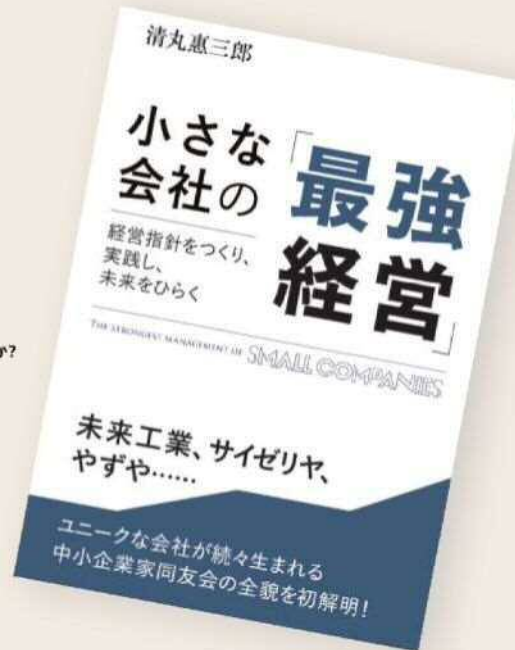
清丸恵三郎 著

プレジデント社

2018～19年にかけて1年間、プレジデント誌に掲載された人気連載「実践！ 会社を良くする社長学～4万7千社が集結『中小企業家同友会』パワーの源」が待望の書籍化！
連載当時の文章を大幅に加筆修正の上、新しく書下ろしも加えられた決定版となっています。
是非ご一読ください。

目次

- 1章 社員を解雇するな！
- 2章 「大震災」未曾有の危機を生き抜く
- 3章 経営指針をつくり、いい会社をめざせ
- 4章 サンタクロースの経営理念
- 5章 なぜ人手不足なのに人材が集まるのか？
- 6章 社員を育て、社員に育てられる会社
- 7章 ダイバーシティ経営に取り組み
- 8章 「中小企業冬の時代」なぜ会員が増え続けるのか？
- 9章 国、自治体、金融機関を動かす
- 10章 地域の発展は企業発展
- 11章 いい経営者は承継対策も万全だ
- 12章 成長なしに企業存続はない
- 13章 部下離れのノウハウ教えます
- 14章 100年企業から200年企業へ
- 15章 会社をよくする経営者と経営とは



全国書店にて
絶賛発売中

4万6千人を超える中小企業の経営者で構成される中小企業家同友会。南は沖縄から北は北海道まで全国津々浦々に支部を持ち、未来工業、サイゼリヤ、やずや、など多くのユニークな企業を輩出し、いまなお会員数を増やし続けている。経営指針をつくり、実践し、未来をひらく……。

企業理念を大切にす勉強熱心な会員たちは、バブル崩壊、阪神・淡路大震災、リーマンショック、東日本大震災など中小企業を襲った幾多のピンチを切り抜けてきた。

中小企業受難の時代である現在でも、中小企業家同友会とその会員企業は、地域の産業、行政、金融機関など様々な組織と連携して生き残り発展の道を模索しながら、進化を続けている。

本書では、ジャーナリストの清丸恵三郎氏が1年以上の期間を費やし、極めて稀有な中小企業の経営者団体、中小企業家同友会を取材、全貌に迫った。